

当面の日程

- 8日 パレスチナ自治区ガザでの戦闘の即時停止を
求める街宣行動（JR元町駅）
- 12日 障害者春闘セミナー2025
（神戸市立障害者センター）

自治ひろば



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1671号

2025. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

シリーズ 尾西が斬る! Vol.2

一刀亮談

いっとうりょうだん

3 地域の歴史・文化を守り、未来へつなぐ

自治体の行政サービスの基本は、市民サービス、教育サービス、保健・福祉サービス、公共工事サービス、環境管理サービス、防災サービスなどを進めることです。

それら業務には、そこに住む人々の暮らしやそれぞれの地域の文化や歴史を守ることが通底しています。

であるからこそ、自治体職員が、地域の文化や歴史、人々の暮らしを理解し業務

を進めることで、さらに行政サービスが向上するのではないのでしょうか。

今、各自治体で早期離職者の増加が大きな問題となつています。その対策として、賃金や職場環境の改善は必要不可欠ですが、さらに、その自治体で働くことにやりがい（ワークエンゲージメント）を持てるよう、地域の特色ある歴史や文化を知り、人々と繋がる機会や研修が必要となつて

きていると考えます。

震災以降、各自治体の業務は、財政難を理由に出先機関や窓口業務を中心に、指定管理者制度などを活用し委託が進められてきました。そのなかで、地域の文化拠点である図書館も委託の波にのみ込まれていきました。

図書館の委託を押し進めてきたある自治体では、図書館を市民の憩いの場として、本の販売や飲食の提供

などを行い、営利を追求し、貸館業務以上のサービスを追及しました。それらはサービス向上であると注目される影で、地域に精通した司書や貴重な地元の歴史書などが失われている側面があることも知らねばなりません。

それぞれの地域が、どことも違う独自の文化や歴史を持つことが、その地域たる所以であり、そこに住む人々が愛着を持つ理由であ

ると言えます。自治体は、その独自性を守り継いでいく役割を重視しなければなりません。

阪神・淡路大震災から30年となる今年、30年、50年、100年先を見据え、本来の自治体業務は営利を追求する業務ではないことを改めて認識し、震災・災害にも対応でき、人々の暮らしや地域の歴史・文化を守ることでできる体制を構築していく必要があります。



決意を述べる岸さん 中央

と当局は言う」など多くの職場実態が報告された。それぞれの発言に対して岸さんは「国の政策が現場の負担を増大させている。現場実態を知ってもらうには、継続的な意見反映が必要」とし、実態に即した柔軟な制度運用の重要性や、労働環境の悪化、国の政策と現場のギャップなどの問題を指摘し「改善に向けて、皆さんの声を届けていきたい」と決意を述べた。

世代が違いすぎてお互いに常識も言葉使いも違うことに戸惑いもあるだろう。最後に新聞記事で拾った文を。「生きるために『息を抜く』ことが許される場が、そこにあった」と。組合は皆さんにとってそういう場でもあります。ふらっと立ち寄ってください。

部・臨職評第14回合同



県本部女性部と臨職評の合同学習会を3月1日、21単組43人が参加し、ひょうご共済会館で開催した。

開会で臨職評の北林江利子議長は「今年はいつもの学習会と異なり、岸さんに来ていただいている。正規・非正規を超えて女性の働き方を考える機会にしよう」とあいさつした。森哲二県本部副委員長は「今年は阪神淡路大震災から30年になるが、当時の運動が被災者生活再建支援法制定につながった。社会を変えるためには法・制度を変えることが必要」と述べ、政治闘争

の大切さを強調した。

岸まきこ参議院議員より「わたしは女性の権利について」と題し「まだ女性差別があからさまに残る職場で、女性部役員になったことが運動の原点」と切り出し、当時、女性はコピーやワープロ打ちといった事務補助としての仕事しかなく、女性は現職が退職しないと新たに女性職員を採用しない等、やりがいを持ってない働き方を強いられていた。「退職」を考えていた頃、岸さんは女性部役員に選出された。この時、他の自治体の仲間と交流するこ

とで、自分の職場のおかしさに気づき、女性が生きがいを持って働ける職場づくりに取り組むなか「組合がなかったら退職していた。

3月1日の女性部・臨職評合同学習会の前段に、女性部常任委員と臨職評4役で岸まきこ参議院議員と意見交換を行った。

参加者からは「市は子育てしやすい施策を実施しているが、肝心の保育現場で

人員が不足している」「国で決まった制度が次々と現場に下され『現場判断』と言われる。業務が回らない」「会計年度職員の処遇が改善されてきたことを理由に『昇給上限があっても仕方ない』『より責任ある仕事を』

岸参議院議員との意見交換会 現場の声を国へ

職場は変えられると実感した」と当時を振り返った。

参議院議員になり、自民党議員は「『家族は円満で妻は夫の言うことを聞く』という価値観だと実感する」と述べ、保育や介護労働の劣悪な実態、選択的夫婦別姓が進まない現状を訴え「女性が社会を変えるためには仲間が必要。そのためには集まる場が大切。女性が働くということこそ『人権』という視点で考えよう」とまとめた。

また、学習会終了後は国

際女性デーを間近に控え、女性デーのシンボルといわれているミモザを使ったリースを岸参議院議員も一緒に作製した。

しこう

新入職員の皆さん、就職おめでとうございませう。共に働く組合員として大歓迎します。この

女性部・臨職評 合同学習会

職場・社会は変えられる

岸まきこ議員

「人権の視点で女性の働き方を」

いまいち座

もうだいぶん見慣れてきましたね



松本 真紀子

岸参議院議員活動報告

意見反映めざし頑張ります

兵庫県本部女性部・臨職評と意見交換



3月1日に自治労兵庫県本部の女性部臨職評の皆さんと意見交換をしました。

どの地域も人手不足で職員の取り合いになっているにも関わらず、当局による

心ない言葉や対応をされていると聞きました。賃金引き上げ、労働者が守られる社会をつくっていかなくやだめです。意見反映めざし頑張ります！

午後からの合同学習会にも参加し「私たち女性の権利」と題し講演しました。

また、皆さんと一緒にミモザのリースづくり。慣れるまでは黙々と作業していましたが、徐々にワイワイ楽しむことができました。



交渉する河合議長

①県内自治体の法定雇用率の達成状況及び対応方法について「雇用率未達成の県教育委員会及び県病院局について、他県の動向を見な

障害労働者評議会は「障害者雇用の推進に向けた要請書」に対する回答に基づ

障勞評による労働局申し入れ
精神・知的障害者の離職率改善を

き、河合良宣議長、山中一慶書記が3月11日、兵庫労働局に対し、3項目について交渉を実施した。

①県内自治体の法定雇用率の達成状況及び対応方法について「雇用率未達成の県教育委員会及び県病院局について、他県の動向を見な

が好事例を提供し不足数の改善に向け取り組んでいる」との回答が示された。

②重度障害者のダブルカウントに関する問題点については、障害者の尊厳に関わる課題だと言ったことを共通認識として持つことを確認。

③アフターケア（定着支援）の充実については「非常に重要な課題であり今後徹底に取り組みを行きたい」との回答を受け、特に精神障害者や知的障害者の1年以内の離職率が高いため早急な改善を求めた。最後に次年度以降の交渉継続を要望し、交渉を終えた。



悲願の初優勝を果たした宍粟市職勞チーム

3月8日、県本部は第18回卓球大会を養父市八鹿総合体育館で開催した。出場単組はブロック予選を勝ち抜いた兵庫県職勞、神戸市役、淡路市職勞、洲本市職勞、姫路市職勞、小野市職勞、加東市職勞、豊岡市職勞、朝来市職勞、開成地の八鹿病院職組、前年度優勝の新温泉町職勞、前年度準優勝の宍粟市職勞の計12チーム。

神戸市役の選手宣誓後、3チームずつに分かれて予選リーグを実施。試合はすべて団体戦で基本的には男子シングルの女子シングルの男子ダブルス、男子シング

ル、女子ダブルス、男子シングルの女子シングルの順で対戦し、4ゲーム以上取得で勝ちとなる。予選リーグは総当たりで2試合。その後、決勝トーナメントで2試合を戦う。

予選リーグを終え決勝へ進出したのは豊岡、宍粟、県職、小野の4チーム。14年連続、通算17回出場して

いる常連、宍粟市職勞が粘り強い戦いで熱戦を制し、念願の初優勝を果たした。準優勝は小野市職、第3位は豊岡市職勞となった。

今大会では、大会当日に選手が揃わず棄権試合が生じるチームが複数出たため、今後の大会運営に工夫していく必要がある。

現業闘争交流集会

現業職場の人員確保と政治闘争の重要性を確認



集会の様子

県本部現業評議会は2月21日、ひょうご共済会館で2025現業交流集会を開催した。

はじめに平瀬勲議長は「コロナ禍で現業職場の重

要性が住民に理解されたが、人員確保に直結していない。課題解決に向け、通年闘争である現業公企統一闘争の取り組みを強化しよう」とあいさつを行った。

次に青木慎吾清掃部会長が「2024現業公企統一闘争総括」、井上孝次清掃部会事務局次長が「県本部2025現業公企統一闘争について」を行い、質疑応答の後、全体で確認した。各ブロック報告を行った後、北池宏光現業公企部長から「政治闘争について」の講演がされ、来たる参議院選挙「岸まき子」の取り組みの重要性を学んだ。最後に県本部尾西亮太郎書記長より集会まとめがあり、2025現業公企統一闘争を通年闘争として取り組むことを確認し、終了した。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さんの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地先の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

県本部卓球大会

宍粟市職勞が初優勝

県大会常連チームが念願を達成

新入組合員の皆さん
ただ今 申し込み受付中です!

社会人としての備えの第一歩は団体生命共済から。
組合員だから利用できる生命と医療の保障です。

長期共済

積み立てタイプの長期共済もあります。

団体生命共済

団体定期生命共済

手続きは組合で
新入組合員の方は
継続募集期間以外も
申し込みます。

こくみん共済 (全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さんの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地先の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。